

会社对新幹線乗務員の 需給対策を示させる！

会社は、12月26日に「新幹線乗務員の需給対策（お知らせ）」を本部にファックス通信してきた。なんとという姑息で幼稚な姿勢か。その内容は、「この度、現時点で明らかにできる範囲の需給対策をお知らせする」というものである。指名ストに入っている労働組合には正式な交渉の場で提示すると困るのであろう。ユニオンを立てないとおかしくなるのであろう。結構である。われわれにとって会社やユニオンのメンツなどどうでも良い。要は、一方的な休日出勤が解消されれば良いのだから。年末の押し迫ったこの時期に、急に「需給対策」というかたちになって現れた。だれがどう言おうも、われわれの指名ストによってである。労働者の闘いによってしか、労働条件の改善はかちとれないのは古今東西あたりまえである。あくまで「新幹線乗務員の需給対策」であり、ホーム検査の部外委託などは効率化施策であり要員確保から発案されたわけはでない。在来線車掌の転換やOB雇用は新たなものであるが、この対策によってどの程度休日出勤が解消されるのか何の裏付けもない。今後の説明によってはっきりさせる。

しかし、**会社をして新たな対策を提示させたことの成果をはっきりと確認する。**問題なのは、会社が本人の同意を得ない一方的な休日出勤をやめるのかどうかなのだ。ユニオン本部よ！この点について見解を明らかにせよ！指名ストに悪罵を投げてもいいから。

会社メンツのためにお知らせ？
なぜ、正式に回答しないのか！

